

しば子先生の

ミ

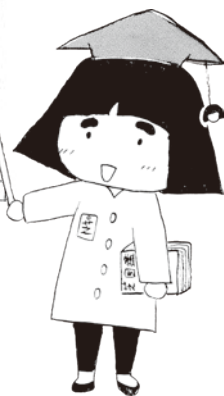
ニ

ミ

ニ

芝生教室

第121回 カタビラ8



生徒：本当にカタビラはやっかいな雑草なんですね・・・

先生：植物としては大して強くは無い植物なので、気象条件が悪くなったりストレスが高くなればすぐに消えてしまうけど、短期間に出穂して種を落とすので、次々と世代交代して適応できる子孫を広げて行く、言わば『世代交代環境適応型戦法』ね・・・

生徒：しかも寒地型の芝生と性格が一緒だから選択的な除草剤も作りにくいですね・・・

先生：その通りよ・・・だからこそ『マックワンフロアブル』の様な除草剤は大変貴重だと思うわ・・・現在アメリカでも登録を進めているから近い将来アメリカのカタビラも減らせることができると思うわ・・・

生徒：そうなんですか！・・・アメリカはゴルフ場が多いから楽しみですね！

先生：その通りよ・・・日本もゴルフ場は多いけど、アメリカは日本の10倍のマーケットだわ・・・

生徒：やはりアメリカでもカタビラはやっかいな雑草なんですか・・・

先生：もちろんよ！・・・アメリカだけでは無く世界中困っているわ・・・

生徒：ある意味すごい雑草ですね・・・

先生：マックワンの米国での試験は10年以上前から始めているので、アメリカのキーパーさんにも結構マックワンのことは知られているの・・・早く登録取って売ってくれてずいぶん頼まれているわ・・・

生徒：期待が大きいですね・・・

先生：アメリカも広いので芝生の種類や気候条件、管理条件が地域によって違うけど、西海岸のカリフォルニア州はカタビラ地域の一つだわね・・・

生徒：カタビラの多いのは困りものですね・・・

先生：特にサンフランシスコ周辺は夏も涼しいのでカタビラ天国・・・有名なペブルビーチも全面カタビラだわね・・・

生徒：あの有名なペブルビーチでもですか・・・

先生：カタビラのグリーンの管理はとても大変なのよ・・・ちょっと暑くなったり乾燥したりするとカタビラが消えてしまうし、病気にも弱いし、肥料をたくさんあげても全然良くならないし・・・

生徒：確かにカタビラの侵入を抑えるのも大変ですが、カタビラ

グリーンを維持管理するのも大変なんですね・・・

先生：それだけじゃ無いわ・・・カタビラと言っても前にも説明した通り、一年草から多年草の物まで約20種以上のバ

イオタイプと言われる性格の違う亜種があるので、朝グリーンを刈り込んだ直後は平らでいいんだけど、昼頃には混在しているカタビラの株によってそれぞれ伸びが違うので、グリーンの表面がうねってしまっただけで真っ直ぐ転がらなくなるのよ、それでトーナメントでは良くクレームが出たわ・・・パッティングクオリティーの維持も難しいわ・・・でも成長抑制剤の「プリモ」が出てからはそれを軽減させられるようになってその問題は大幅改善されたわ・・・

生徒：なるほど・・・

先生：カリフォルニアではカタビラのことを「カリフォルニアベント」と呼ぶときがあるわ・・・

生徒：それはどうしてですか？

先生：私も最初はどうしてそう呼ぶのかわからなかったんだけど・・・カリフォルニアのキーパーさんと話していてわかったのよ・・・みんなカタビラなんかでグリーンを作りたくなくて、いろいろ薬を撒いたりベントグリーンに張り替えたり試行錯誤してみたんだけど、結局カタビラに負けてしまっただけで諦めたのよ・・・でもグリーンの芝は「カタビラです」っていうのが多分悔しいんだと思うのよ・・・だから「カリフォルニアのベントです」っていう若干負け惜しみのジョークのような・・・

生徒：なるほど・・・皆さん大変な思いをしているんですね・・・

先生：だから、マックワンが使えるようになれば、一度ベントに張り替えて、後はマックワンを撒いておけばカタビラの侵入を防いでずっとベントで管理できるようになるので大いに期待されてるわ・・・

生徒：待ち遠しいですね！

先生：日本のテレビでアメリカのトーナメントの中継をしているときに解説者が、「グリーン芝は『ポア』です」って言うけどこれは大間違いね・・・アメリカではカタビラは「poa annua」(ポアアニユア)と呼ばれているんだけど、アメリカ人の発音だと「ポアナ」に聞こえるから勘違いしたのだと思うわ・・・でも正式名は「スズメノカタビラ」だわね・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

《芝生教室のバックナンバーはこちらから》

